

2. 地域概要

2.1 地形概要

阿蘇地域は東西に約 18km、南北に約 25km、面積は約 380km² のカルデラ地形を呈している。その中央部には高岳（標高 1592m）を始めとする中央火口丘群が東西方向に配列しており、カルデラ底部は大きく南北に二分されている。カルデラ底部の標高は約 400m～500m 程度であり、カルデラ壁は約 300m～600m の比高を持つ急崖地形を呈している。カルデラ北側の阿蘇谷の北壁ではカルデラ底部との高度差は 300m 程度であるが、南郷谷側の南側では約 300m～600m と標高差が大きい。

カルデラ外輪部は、南東側において 10° 内外の斜面を形成しており、これに火砕流台地が接している。また、カルデラ西側には唯一カルデラ地形が途切れる立野火口瀬があり、カルデラ内の水はこの谷地形を通過して黒川が白川と合流して熊本市方面へ流下している。

カルデラ内壁側は、傾斜 30 度以上の斜面となっており、この斜面の裾野にそって集落が点在している。

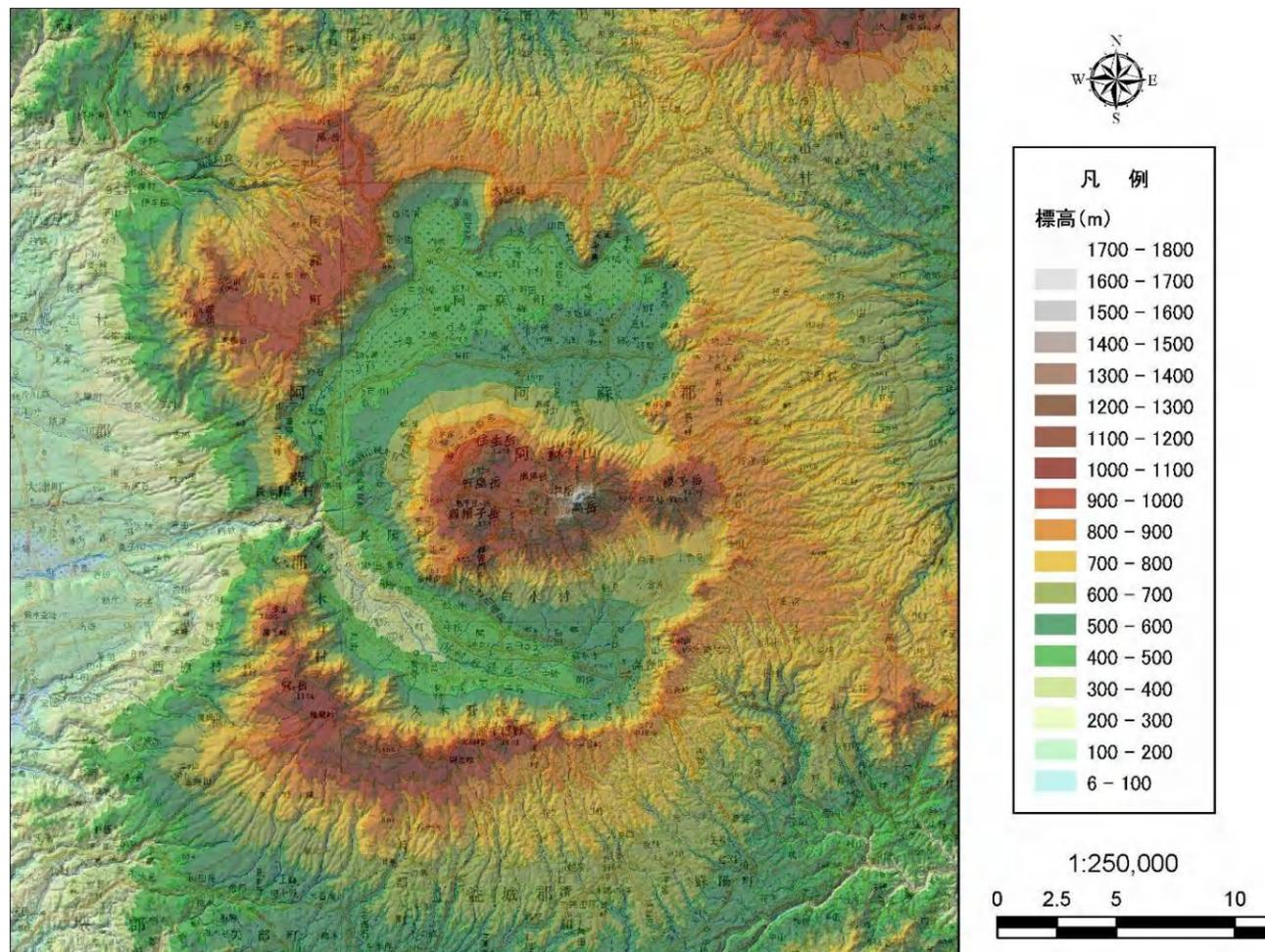


図 2.1-1 地形標高分布図

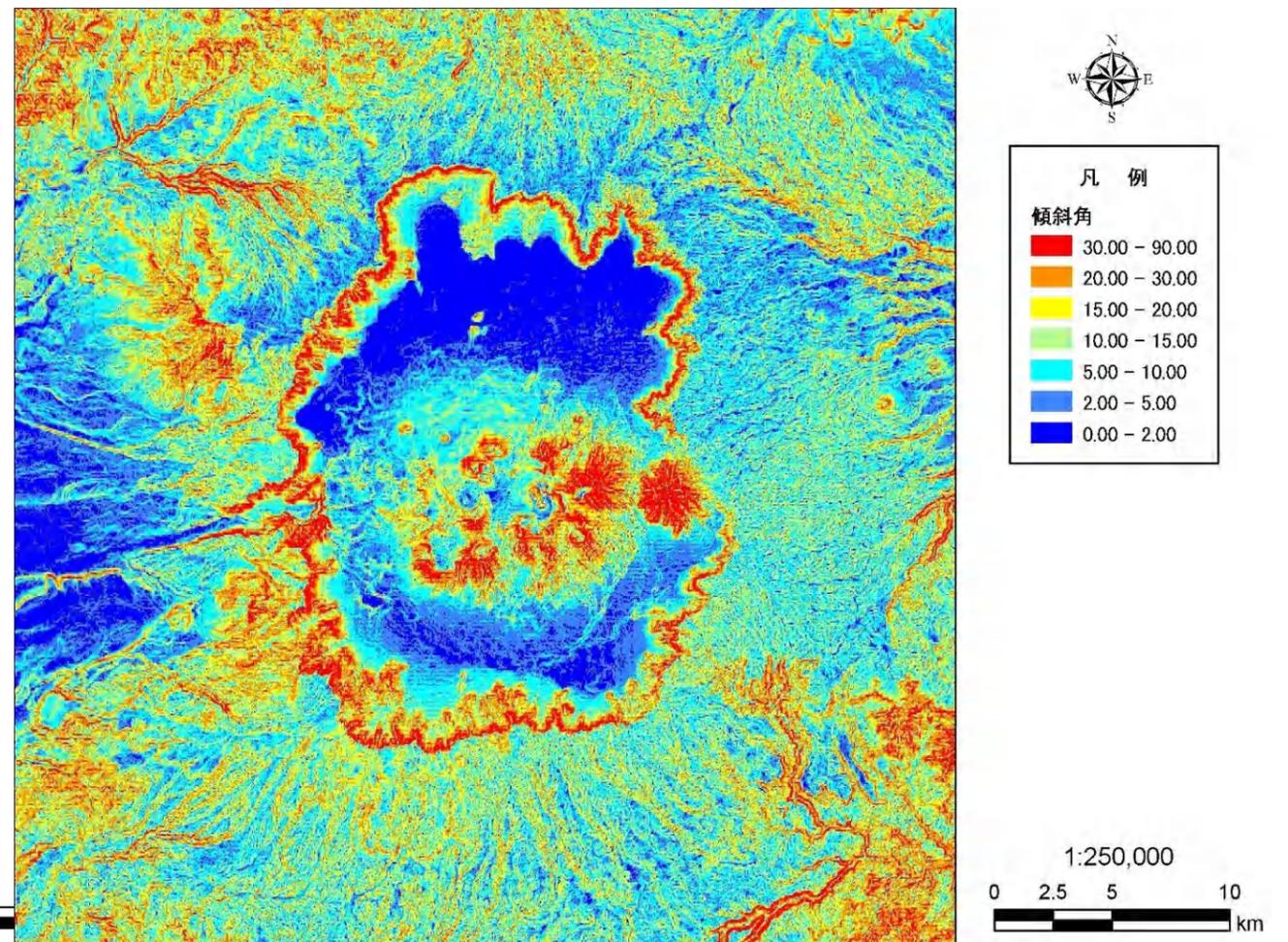


図 2.1-2 傾斜区分図